（別紙）

水稲の出穂状況（８月５日現在概況速報）について

１　８月５日現在、出穂した水田の割合は県全体で１５％（前年同期２７％）である。
　地帯別では、北上川上流が１８％、北上川下流が１４％、東部１４％、北部１２％である。
２　県全体の出穂始期（10%出穂）は８月５日と推定される（平年より１日遅）。

表１　水稲の地帯別出穂状況（8 月 5 日現在，各農業改良普及センター調べ）

農業地帯	8/5 現在出穂割合(%)				出穂時期(月／日)								
					本年			平年			平年差(日)		
	本年	H24	H23	H22	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	18	15	14	64	(8/4)	―	―	8/3	8/7	8/11	(1)	―	―
北上川下流	14	33	17	67	(8/5)	―	―	8/4	8/7	8/11	(1)	―	―
東　　部	14	35	6	59	(8/5)	―	―	8/5	8/8	8/12	(0)	―	―
北　　部	12	9	20	66	(8/5)	―	―	8/4	8/7	8/11	(1)	―	―
県 全 体	15	27	16	66	(8/5)	―	―	8/4	8/7	8/11	(1)	―	―

注）1，平年値は、平成 14 年～24 年（15 年除く）10 カ年の平均値.
　　2，出穂状況は、始期：10%終了、盛期：50%終了、終期：90%終了、を表している.
　　3，括弧書きの数値は未確定市町村があるため推定値.

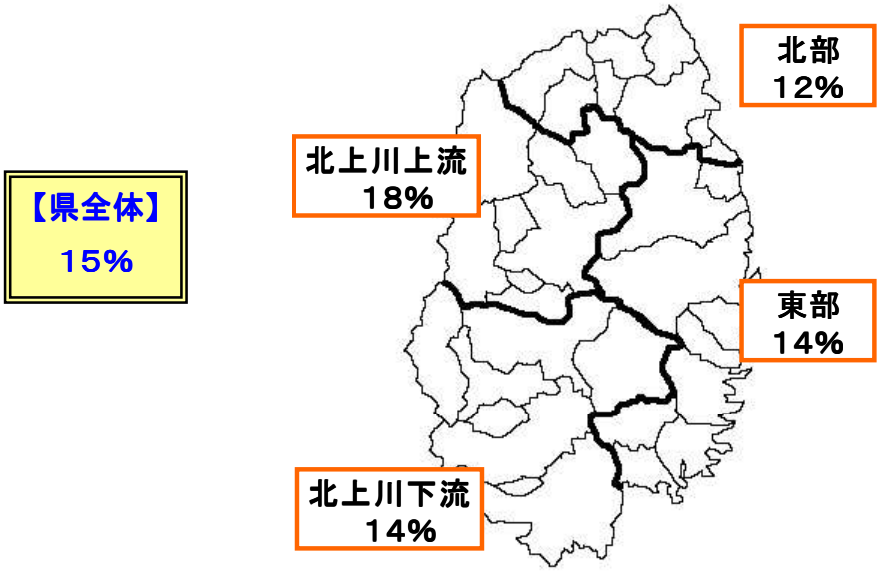

図１　水稲の地帯別出穂割合（8 月 5 日現在，各農業改良普及センター調べ）

３　栽培管理のポイント
（１）出穂・開花期間は最も水が必要な時期なので、田面が露出しないよう湛水管理（浅水で良い）とする。
（２）１ヶ月予報（８月２日，仙台管区気象台発表）では、気温がかなり高くなる見通しである。
気温が高い日が続く場合（概ね日中３０℃以上、夜間２３℃以上）、開花終了後は間断かんがいを基本とし、積極的な水の入れ替えにより地温の低下を図る。用水に余裕がある地域では、土地改良区等と協議のうえ、掛け流しを行うことも有効である。
（３）早期落水は収量や品質低下の原因となるので避ける（完全落水は出穂後３０～３５日後）。
（４）上位葉（止葉、次葉、第３葉）に発生する葉いもちは穂いもちの伝染源となる。葉いもち発生が見られるところでは、直ちに茎葉散布を行うこと。
（５）斑点米の発生を防ぐため、水稲の穂揃１週間後に薬剤防除を実施すること。